

山由は往く降る事あれとも吹浦よまよ
むに續日本記承和六七年の条下に石碓
の事を載せて大和志天祚の威稜を記し
土人邪軍といふ事を云傳へるも拠なき
ものあり又三代実徳元慶八年の条下
に同仁和元年の条下同二年此条下も
石碓の事を載せしむ怪矣辨断は石碓の
事を辨して是れ本造化のものなり
を人これを傳へ置天是を降さんやといふ
ハ其よりより奇事を見ざるの論なり

大なる謬なり

58838